



# 高すぎる国保料引き下げを

前都議会議員(中野区)

うえき・こうじ

## 植木 こうじ

## 日本共産党

### 給与も、年金も減っているのに 値上げの連続で、重い負担増。もう限界です

わずか3年の間に… (負担増世帯の例)  
豊島区の資料より作成  
※夫婦年齢が40歳～64歳の場合

世帯例	10年度 国保料	13年度 国保料	負担増額
年金200万円 夫婦2人世帯	6.4万円	8.6万円	2.2万円
給与200万円 夫婦2人世帯*	11.7万円	20.2万円	8.5万円
給与300万円 夫婦と子ども2 人の4人世帯*	19.4万円	35.5万円	16.1万円

国民健康保険料の大幅値上げが、23区の各区議会で日本共産党などの反対をおしきって強行されました。この間、毎年値上げされた結果、左の表をごらん下さい。わずか3年の間に大幅な負担増です。非正規雇用の若者や年金暮らしの高齢者、中小業者には重い負担です。

### 介護や後期医療の負担も重く

昨年は介護保険料や後期医療保険料も値上げされました。

こんな重い負担増はもう限界です。

## 国と都の財政支援を増やし 負担軽減の実現へ全力

私は、東京都に、緊急の負担軽減対策として、国保や介護保険、後期高齢者医療の3つの保険料を、右表のように、それぞれ年5千円軽減させるため全力をあげます。必要な予算は322億円。都全体の予算のわずか0.5%です。

また、値上げのおおもとにある国の社会保障切り捨てをやめさせ、減らされた国保への国庫負担を増やします。

### 共産党都議団の緊急軽減対策

国保料	1世帯あたり 5千円軽減
介護 保険料	1人あたり 5千円軽減
後期医療 保険料	1人あたり 5千円軽減

医療や介護の重い負担は、くらしを壊すとともに、保険料などが払えなくなって、医療や介護を受けることもできなくなるなど、命にもかかわります。力をあわせ負担軽減の実現へがんばります。



参議院東京選挙区予定候補

きら・よしこ

## 吉良 よし子

東京  
民報

ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471  
2013年5月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。  
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

「しんぶん赤旗」や「東京民報」を  
ぜひお読みください